

会 議 録

令和 7 年 7 月 2 8 日

令和 7 年度第 2 回大和郡山市地域公共交通総合連絡協議会

議 事 概 要

1. 開会・挨拶

【事務局】

ただ今から大和郡山市地域公共交通総合連絡協議会を開催させていただきます。本日は、委員の皆様方には大変お忙しい中、ご出席いただき誠にありがとうございます。

本協議会の司会を務めさせていただきます交通防犯対策課の上谷でございます。どうぞよろしく願いいたします。それでは、着座により進めさせていただきます。

まず初めに、交代された委員のご紹介をいたします。

(委員紹介)

なお、本日の欠席者はございません。

それでは、本日の議題に入る前に、配布資料の確認をさせていただきます。

(配布資料確認)

なお、本日の協議会を傍聴される方が1名おられますことを、ご報告いたします。

それでは協議会の開催にあたりまして、本会議の会長である上田市長よりご挨拶をお願いいたします。

【市長】

皆さん、おはようございます。もう、お暑うございますとしか言いようがないですけども、早朝から、しかも本日は全メンバーお集まりをいただきまして、本当にありがとうございます。

本日、議案としましては1件でございますが、地域公共交通計画の基本方針を策定していくということで、本市公共交通に関する基礎部分について、本日、結論ということではなく、少し時間を掛けて煮詰めていきたいという事務局のほうの考え方でございます。それに則って進めていきたいと思っております。

次に、報告としましては2件ございまして、コミュニティバスの利用実績と、デマンドタクシー実証実験の進捗状況です。

先日、秀長さんプロジェクト推進協議会から、キャッチコピー『秀長が残した輪は今もここにある』を公表したのですが、“輪”というのがキーワードになっています。

秀長と家臣との結束の“輪”、大和の人たちとの信頼の“輪”、自治の仕組みを作った自治の“輪”等、色々あるわけですが、“輪”というのは、現代社会のキーワードになるのではないか、この公共交通の“輪”を作っていこうということだろうと思いますので、ぜひ忌憚のないご意見をいただきながら、少しずつ煮詰めていくことができればと思いますので、どうぞよろしく願いをいたします。

【事務局】

当協議会設置要綱第6条第1項に基づき、上田市長、進行のほど、お願いいたします。

2. 議題

議題1 「大和郡山市地域公共交通計画」の基本的な方針について

事務局より資料1に沿って以下のとおり説明

- ・将来像及び基本方針（案）について、意見等があれば9月末までに、委員各位より事務局に回答する。
- ・次回の協議会において、意見に基づいた修正案を提示した後、計画の目標、事業及びその実施主体、達成状況の評価に関する協議を行ったうえで、令和8年3月を目処に本市地域公共交通計画を策定する。

(質疑応答)

【市長】

ただ今、事務局から議題について報告がありました。これについて質問等はありませんでしょうか。

【一般社団法人 奈良県タクシー協会】

説明を聞いた中で、「地域全体でこれら公共交通網を支えることを基本姿勢とします」、「地域の支えあいなどの活力(元気)を重視する」や「補完していく」という記載がありましたが、地域の支え合いによる移動サービスや推進支援とか、どういうものを具体的にイメージされておられるのか、何か考えがあるのであれば、お聞かせ願いたい。

【事務局】

例としまして、「おでかけGO」という、地域住民によるボランティアで運行している「支え合い交通」というのがございまして、今は筒井と矢田の2地区で運行しています。

【一般社団法人 奈良県タクシー協会】

それは無償でしょうか。有償なのでしょうか。

【事務局】

無償です。登録時に登録料は頂いていますが、乗車・利用する際は無償となっています。

【市長】

有償ボランティアによる高齢者の移動支援です。

【一般社団法人 奈良県タクシー協会】

そういうのがイメージにあるということですね。分かりました。

全国的に似たような取組はあると思いますが、それが本当に良いのか。安全面の懸念もあるし、万が一事故が起きた際など、そういう移動手段が本当に良いのかは、やはり議論していただきたい。

【市長】

地域で自由に運行してもらえるのは大変なので、地域社会福祉協会が全面バックアップしています。

ほか、いかがでしょうか。

【奈良交通株式会社】

「鉄道、バス、タクシーなど既存の公共交通機関を維持していくと

ということが最も重要」だと記載していただいておりますが、運転者不足問題や、人口減により利用者数も減少していくという状況にあります。そういった収支面でも非常に厳しい路線もあり、交通事業者だけでは、今後維持していくということについて少し難しいところもあろうかと思っておりますので、計画内に盛り込んでいただけるのは非常に有り難いと思っております。

ただ、具体的にどのような形で維持していくのか、何か考えがあるようでしたら、お聞かせいただきたいと思います。

【事務局】

例えば、コミュニティバスであるとか、先ほど説明いたしました地域の支え合い交通、これから実証しますデマンド交通等について、既存の交通機関とバッティングしないよう、そこを一番に考えているところです。もし、バッティングすることによって、既存の交通機関が衰退・撤退していくことのないよう念頭に置きつつ、具体的な支援の形については、検討段階ということでご理解いただけたらと思います。

【奈良県交通運輸産業労働組合協議会】

基本方針のところ、「参考：基本方針に紐づく施策イメージ」という中で、“公共交通の利用者に配慮した駅前ロータリーの整備”という

記載があります。もちろん利用される方の理念を考慮した整備というのは、第一に安全・安心なまちづくりというイメージでは大事だと思いますが、公共交通に従事する労働者のことも考えた整備というのもしていただけたらと思います。

私ども、公共交通、いわゆる交通運輸産業に従事する労働者の代表でございます。一旦ロータリーが完全に出来上がってしまったからでは、なかなか改善するという事は難しいのではないかと思います。

例えば、主要駅ターミナルのロータリーで、天理駅のように広々とした所では整備できるけれども、小さい駅では物理的に無理という所もあります。

地域公共交通計画の基本方針の中に、公共交通に従事する労働者についても配慮をいただきたいと思っております。よろしく願い申し上げます。

【事務局】

今、どのような状況かを現況確認した上で、地域公共交通計画に盛り込んで行きたいと思っております。

【市長】

基本理念の言葉も、もう少し検討してほしいと思っております。

「・・・つなぐ、生み出す」だと、文章のつながりに違和感があるため、もう一度検討してほしいと思います。先ほどの「秀長の“輪”」を入れていただいても良いかと思います。すごく大事なことなので、十分検討してください。

※資料に示していた第5次総合計画における市の将来像は、あくまで内部検討段階における仮のものであるため、公開資料からは削除しています。

よろしいでしょうか。

一旦お持ち帰りをいただきまして、次回にということ、ぜひ忌憚のない、それぞれの立場からのご意見をたくさんいただくことが、より良い計画になっていきますので、よろしくお願いします。

報告1 コミュニティバス利用実績及び他市停留所廃止基準について

事務局より資料2に沿って以下のとおり説明

- ・ 交通計画の中に、再編に向けた基準を盛り込むことを目指す。
- ・ 路線や停留所の見直しについては、策定した基準に即しつつも、それらの見直しがサービス全体の向上につながることを基本に検討を進める。

(質疑応答)

【市長】

ただ今、事務局から報告1について説明がありましたが、これについて質問等はございませんでしょうか。

よろしいでしょうか。

説明の中で、他市における再編の検討基準がございました。

本市も今回策定する交通計画の中に、再編に向けた基準を盛り込むことを目指しておりますので、次回以降、議論をしていかなければならない部分がございます。非常に難しいと思いますが、これを参考にしつつ、本市の実態にあったものができればと思いますので、交通に精通しておられる立場からの皆さまのご意見を今後よろしくお願ひします。

報告2「デマンドタクシー実証実験」進捗状況について

事務局より資料3に沿って以下のとおり説明

- ・ 7月1日(火)に市ホームページで公開、併せて、市公式LINEにて配信を開始している。また、会員登録申請書がセットになったA3チラシを、市内約3万5千世帯に配布している。
- ・ 7月15日(火)時点で157人の申請を受け付けている。

(A地区周辺：77人、B地区周辺：54人、その他地区：26人)

- ・デマンドタクシー実証運行について、自治会や各種団体からの要望・相談等があれば訪問し説明を行うので事務局まで一報をお願いする。
- ・乗降所の場所替えや追加等の住民から意見・要望については、個別ではなく、各地区の自治会等で取りまとめて、要望書として12月目途に事務局へ提出していただく。
- ・デマンドタクシーの運行内容については、令和8年4月の本格運行に向け、協議会で協議し、より良くなるように見直しをしていく。
- ・事務局からも、自治連合会役員会及び常任委員会の方へ意見の取りまとめをお願いする。

(質疑応答)

【市長】

事務局から報告2について説明がありましたが、これについて質問等はございませんでしょうか。

7月から会員登録の受付が始まったということで、報告がありましたが、併せて市民からのご意見も寄せられているようです。

コミュニティバスやデマンドタクシーは、あくまでも民間の公共交通を補完するという手段でございます。新しい輸送手段を作ることによって既存のバスやタクシー事業を撤退したり、あるいは縮小したりするのは、本末転倒であろうかと思えます。

公共交通の持続性の確保という目的とともに、既存の交通事業の活用と市民の思いをうまく調整していくことができればと考えておりますので、いろんなご意見、ご希望等、うまく調整をしながらより良いものにしていきたいと思えます。

どうぞよろしくお願いいたします。

3. その他

- ・次回協議会を10月27日（月）の10時から、4階大会議室にて開催する。

4. 閉会

【事務局】

皆様、本日は大変お忙しい中ご出席賜りありがとうございました。

それでは、本日の議事録は市のホームページに掲載させていただきます。

以上を持ちまして大和郡山市地域公共交通総合連絡協議会を閉会

いたします。どうもありがとうございました。

以上